

田原市地域コミュニティ連合会



- 「田原市地域コミュニティ連合会」は、地域コミュニティによる“自主的なまちづくり”を目指すため、それまでの総代会に代わって、平成23年度に発足しました。
- 連合会では、地域コミュニティ活性化のための調査・研究、定例理事会などでの意見交換、市への要望活動などを行っています。

◆令和7年度連合会活動方針

目標とする地域社会	“誰もが暮らしやすい社会”
活動目標	みんなが参加し、互いに尊重・助け合う地域づくり
推進項目	①コミュニティ活動の目的・目標をみんなで共有しましょう。 ②一人ひとりが出来ることから取り組む全員参加のまちづくりを進めましょう。 ③情報交換や交流イベント等により、連帯意識を高め、人づくりを進めましょう。

■視察研修の実施

令和7年7月3日（木）・4日（金） / 石川県七尾市能登島
能登半島地震の被災地を視察

今後の地域防災の取組みに活かすべく、能登半島地震で震度6強の被害を受けた石川県七尾市能登島を訪問し、被害の状況、住民の対応、被災生活の様子などについてお話を伺いました。

◆視察先対応◆

- ・能登島観光協会（震災視察プログラムに参加）

◆能登島について◆

- ・人口約2,300人、約900世帯。
- ・震災当日は、本土と繋がる2本の橋が通行不能となり、一時孤立状態となった。

◆伺ったお話（抜粋）◆

- ・避難場所での安否確認をスムーズに行うことができたため、逃げ遅れた人をすぐに救助しに行くことができた。
- ・被災生活における一番の問題はトイレの確保だった。簡易トイレの備えは非常に大切。



参加理事の意見（抜粋）

- 日頃からの住民同士の関係づくり（孤立世帯解消）の大切さを感じた。
- 避難所のシミュレーションを含めた細かいことを今後はっきりさせていきたい。
- 日々の準備の大切さ、能登の人々のたくましさを感じた。
- 田原市でも半島先端部の地区は幹線道路が寸断された場合、孤立に近い状況となることが予測される。その場合の備蓄品等は現状で足りているのか、今一度十分な考察が必要と感じた。



■地域活動支援要望書の提出

令和7年9月29日（月） / 田原市役所応接室

田原市市民協働まちづくり条例で、まちづくりの基礎的団体として位置付けられている地域コミュニティ団体への支援を求める地域活動支援要望書を、山下政良市長へ提出しました。

内容は、これまで実施されている活動支援、施設整備支援の内容を引き継ぐとともに、更なる支援内容の充実を検討していただくものとしています。

当日は、市長のほか、副市長、総務部長が同席のもと、財源、組織及び事業推進等について意見交換を行いました。



意見交換の内容（一部抜粋）

- 国道・県道における除草等についても、市ができることは対応していきたい。
- 少子化は大きな課題。結婚支援、子育て支援に力を入れていきたい。



■令和7年度 連合会の主な事業運営状況

4月	定期総会・地区行政連絡会・交流会
6月	連合会会報（第29号）発行
7月	視察研修
9月	地域活動支援要望書提出
1月	連合会会報（第30号）発行
2月	田原市防災講演会 （田原市地域コミュニティ連合会研修会）
●その他・定例理事会開催（毎月） ・各種審議会への委員参加（随時）	

自治会加入・地域活動への参加のお願い

自治会では、親睦交流活動、防災活動、交通安全・防犯活動、清掃活動など皆さんが住みやすくなるよういろいろな活動をしています。そこに住む一人ひとりの力が必要ですので、自治会加入・活動参加をお願いします。



連合会ホームページをご覧ください

田原市地域コミュニティ連合会では、活動内容や各協議会のイベントなどの情報をホームページでお知らせしています。ぜひご覧ください。

田原市地域コミュニティ連合会

検索

編集：田原市地域コミュニティ連合会事務局
（田原市役所 総務課）

電 話 0531-23-3504

メール komiren@city.tahara.aichi.jp

ホームページ <https://tahara-komiren.com/>